

萬福寺だより

第23号

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2015年冬号／no.23／平成27年12月1日発行

磨墨塚（南馬込三丁目）で「ご供養 萬福寺境内で「するすみ祭」を開催しました



11月8日（日）、南馬込三丁目の磨墨塚で安本利正ご住職様式師のもとご供養が行われました。磨墨塚は昨年12月、金子家から萬福寺に寄進され、その後改修工事を行っていました。このほど完成。寄贈者金子家はじめ萬福寺護持会、近隣の方々、梶原殿関係者が多数参加して執り行われました。

「磨墨」は、当山開基の梶原景時の子、景季が源頼朝から賜った名馬で、以来、日本の名馬の尊称となっています（詳細は既報「萬福寺だより」21号、22号参照）。この名前が付いた塚を今日まで守り伝えてきたのは、梶原家はじめ馬込周辺の方々の祖先を敬う信仰の深さと思われます。

「ご供養後、境内では「するすみ祭」チャリティイベントが行われ、開会式で安本ご住職様から、次のようなご挨拶がありました。

「金子家の皆様が話し合っ、塚を今後永久に保存していくには寺に寄進するのが一番いいだろうと結論を出され、当山に申し出られました。萬福寺もこれをお受けし、今後永久にこの経緯と磨墨塚を伝えていく決意を新たにしました。本日は大勢お集まりいただき、儀式とともにイベントを企画しました。ゆつくり楽しんでください。」

本堂前には紅葉台木曾馬牧場（河口湖）のポニーと和種馬各1頭が登場、子ども限定のポニー試乗会や和種馬との記念撮影が行われました。また、護持会役員、梶原殿運営スタッフ手作りのお餅や豚汁が販売され、売上金の一部は大田区の社会福祉に寄付されました。



つぎたて餅と熱々の豚汁を賞味



陣羽織姿で馬と記念撮影



ポニーに乗って境内を散歩